

ティーチング・ポートフォリオ

日本国際学園大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科
宝崎隆祐

教育の責任

科目名	対象 学年	受講 人数*	授業 形態	必修 選択	科目区分 (カリキュラムにおける位置づけ)
数学③	1	23	講義	必修	入門科目群
データ分析と統計1	2~4	16	講・演	選択	専門基礎科目群(共通科目)
ビジネス数理1(仕事のための基礎数理1)	2~4	16	講・演	選択	専門基礎科目群(共通科目)
ビジネス数理2(仕事のための基礎数理2)	2~4	13	講・演	選択	専門基礎科目群(共通科目)
専門演習ゼミ1(情報デザイン演習 E1, E2)	3	2	講・演	選択	専門発展科目群(情報デザイン)
専門演習ゼミ2	4	6	演習	選択	専門発展科目群(情報デザイン)
卒業研究	4	2	演習	必修	専門発展科目群(情報デザイン)

教育の理念

身の回りから世界まで、学生が関心をもつ問題に対し科学的な態度で公平無私にその解決に向き合う科学的姿勢と現実に役立つツールを身につけさせることが、私の教育方針である。そのため、大学教育は、その解決が真に役立つ問題への様々なアプローチを手助けすることで、学生自身の価値ある意思決定を支援する役割をもつに過ぎず、意思決定の結果責任はあくまで学生自身が負うこと、また問題解決に向けた真摯な努力が必要であることを学生に自覚してもらうことを教育の柱としている。

教育の方法

理論と身近なツール(表計算ソフト等)を組み合わせた授業を心掛け、理論で学んだことをすぐに実践できる力を身につけさせるように指導している。「データ分析と統計1」では、現代の社会で必要とされるデータサイエンスの基礎をエクセルその他のツールを用いた演習により修得させ、産業界における有為な人材育成を心掛けている。そのため、中間試験や定期試験では、筆記試験のみならずPCでの演習も組み合わせた課題により実力を評価している。このようなやり方は他の授業でもそうであり、「ビジネス数理1・2(仕事のための基礎数理1・2)」では社会で役立つ数理科学的手法を用いて貯蓄やローン等の実学的なテーマを扱い、「専門演習ゼミ1(情報デザイン演習 E1, E2)」では企業活動の実データを用いて学習内容の応用力を習得させる学習方法を採用している。また、専門演習ゼミ2や卒研では学生自らが社会問題を発掘し解決するテーマを選ばせている。これらの授業では、学生自身の自学自習に資するため、Google Classroomに講義ノートや資料をアップロードして公表している。レポート作成のための作文リテラシーは、学校教育では手薄になりやすいものの、実社会では必要不可欠な資質であるため、課題提出文の添削も行っている。

教育の成果 および 今後の目標

「授業改善計画報告書」に記載のとおり

参考資料

- 参考著書：宝崎隆祐・飯田耕司、「搜索理論における確率モデル」(コロナ社, 2019)
- グーグルドライブ：<https://drive.google.com/drive/my-drive> (非公開)